

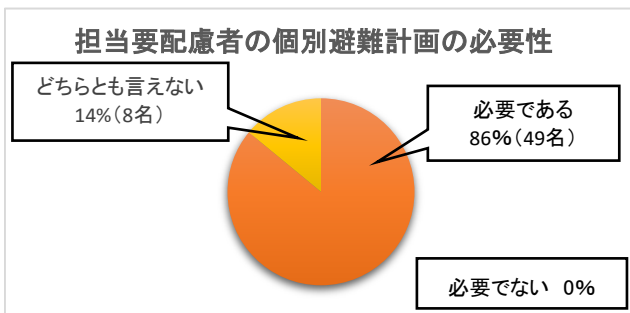
# 福祉専門職の理解を得るための取組事例 (モデル事業報告書より)

Point

- 研修を通じた福祉専門職等との連携（福祉専門職防災力向上研修）

課題

災害対策基本法等の一部を改正する法律（令和3年5月20日施行）において、個別避難計画の作成に取り組むことが、市町村の努力義務とされた。福祉専門職においては、平常時のケアプランやサービス等利用計画の作成のみならず、「個別避難計画」策定への関与が求められており、その必要性や取組内容の共有化を図る必要がある。



取組の方針や内容

取組方針

「災害リスク」×「避難計画」  
共に学び・考えよう！

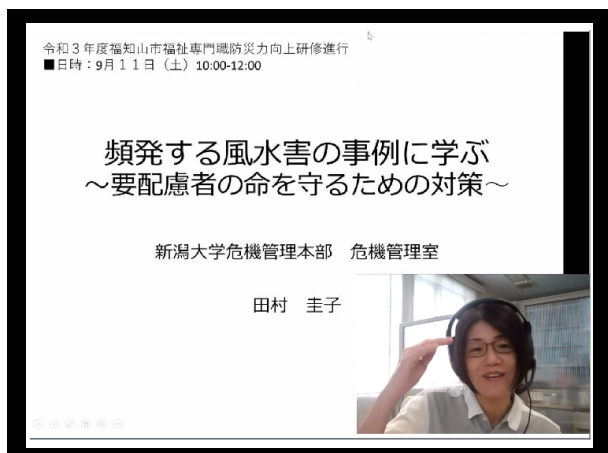
取組内容

(庁内での取組)

- ① 庁内PTでの打合せ（研修内容の決定）→② 庁内PTから講師依頼→③ 庁内PTから参加案内→④ 庁内PTによる福祉専門職防災力向上研修開催→⑤ 庁内PTでのアンケート分析

(庁外への働き掛け)

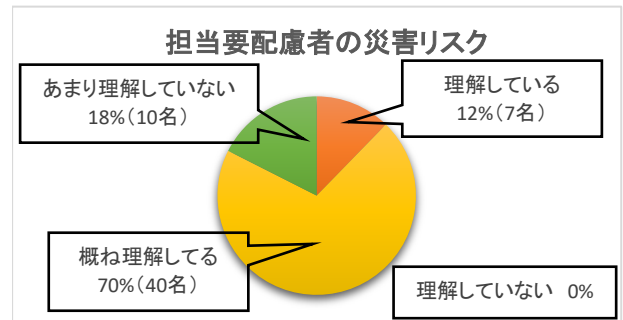
- ① 庁内PTから新潟大学 田村教授への講演依頼→② 庁内PTから福祉専門職への案内文送付→③ 庁内PTによる福祉専門職防災力向上研修開催→④ 庁内PTからアンケート依頼



取組の成果・結果

全国で多発する災害や本市で発生した水害、「個別避難計画」をめぐる国の動向等を踏まえ、福祉専門職の皆さんに「本市の災害リスク」と「個別避難計画」について考えていただく機会として開催した。

アンケート分析結果では、担当する要配慮者の災害リスクについて8割を超える方が理解されており、要配慮者の災害時の状況についても気にされているが、より高度な防災知識が求められる避難すべきタイミングについては、5割を超える方の認知にとどまった。また、「計画」策定の課題として、「移送手段、避難支援者、避難場所の確保」、「本人の意思」、「地域との連携」などの意見があった。



成果が得られた理由

- 研修会の内容と構成について、庁内PTで十分検討した上で開催したため、「本市の災害リスク」と「個別避難計画」の必要性について、理解していただいた。
- アンケート内容と構成について、庁内PTで十分検討し、回収後の分析まで実施したため、福祉専門職の皆さんが考えている「個別避難計画」の課題を共有することができた。

実際に取り組んで分かった課題と対応策

(課題)

- 「個別避難計画」の作成について、福祉専門職の理解をどのように得ていくか。

(対応策)

- 庁内PT (R2.10 結成、福祉と防災5課15名)において、1年目は福祉専門職のコアメンバーから「要配慮者の避難」に関する課題を聞き取り調査し、2年目は「研修会」などを通じて多くの福祉専門職と「要配慮者の避難」についての課題を共通認識いただいた。

### Point

- 福祉専門職等と協議する場の設定
- 療養者と家族の防災への理解と協力

## 課題

災害時に命と暮らしを守るためには、日常の関係性づくりや仕組みづくりが大切なことへの理解不足。

日常から在宅療養者の支援を行っている関係者の協働が必要なことへの理解不足。

療養者に積極的な参加の理解が進んでいない。

## 取組の方針や内容

### 取組方針

『療養者や家族の声を聴く』  
『多様な団体と協議しながら  
進め、最善を目指す』

### 取組内容

#### (庁内での取組)

- ① 関係部局へ会議参加要請。防災局長から市民福祉部長（高齢者福祉課・障害福祉課）と、いきいき健幸部長（介護保険課・健康推進課）へ依頼。
- ② 在宅療養者支援関係者で行う会議への参加要請。

#### (庁外への働き掛け)

- ① 大分県庁への参加要請。(危機管理・福祉関係課)
- ② 在宅療養者支援関係機関への会議参加要請。(別府市薬剤師会・医師会訪問看護ステーション・西別府病院(重心・筋ジス病棟有)・医ケアコーディネーター・医ケア児保護者・江藤酸素(株))
- ③ 訪問看護ステーションや、医ケアコーディネーターへの理解と、アセスメントシート記入のお願い。
- ④ 施設運営者や事業所代表者などに向けて、個別支援計画作成の理解と協力を得るために、有識者や国の関係者(国土交通省・厚生労働省・内閣府)とともに勉強会を実施。(↓日程と内容)

内 容	
学習会進行	跡見学園女子大学教授 鍵屋 一氏
① 国土交通省事業説明	「ハザードマップ、マイ・タイムライン、要配慮者利用施設の避難確保の取組について」
② 厚生労働省事業説明	「福祉事業所等のBCP作成義務化について」
③ 内閣府事業説明	「避難行動要支援者の個別避難計画作成、福祉避難所への直接の避難等について」
④ 休憩(質問等チャットにて)	
⑤ 福祉職等関係者の命と暮らしを守る日常の取り組みについて	同志社大学教授 立木 茂雄氏
⑥ 別府市事業説明	

## 取組の成果・結果

福祉関係者だけでなく、在宅療養者支援関係者との顔の見える関係性ができることにより、現状把握と情報共有の仕組みづくりにつながる道筋ができた。

訪問看護ステーションなど、日常支援を行っている団体へのアンケート調査やアセスメントシート記入により、現状把握ができた。

医療的ケア者の個別支援計画作成の説明を行うことにより、計画作成と生活状況把握につながった(コロナ感染症感染拡大により、予定が延期されている)。



(医ケアコーディネーターへの説明の様子)

## 成果が得られた理由

- 在宅療養者支援関係団体と庁内担当者が協議を行うことにより、活動の方向性を決定づけた。
- 訪問看護ステーションなど、在宅療養者支援者の理解が、情報把握と個別支援計画(優先順位)作成につながった。
- 療養者の理解と協力を得ることができたため、医療的ケア児・者の支援計画作成や体制整備について協議し、広げるためのスタートラインにつけた。

## 実際に取り組んで分かった 課題と対応策

### (課題)

○市は、福祉サービス提供者としての把握はできているが、医療的ケア児・者としての把握ができていなかった。

### (対応策)

○ 訪問看護ステーションや、医ケアコーディネーターなど、日常的に支援をしている事業所などと連携することによって把握できた。

Point

- 機会を捉えて福祉専門職へ働きかけ
- 県が積極的に福祉専門職参画による計画作成のメリットをPR

課題

本県では、大分県別府市の取組事例等から、福祉専門職の参画が効率的・効果的な計画作成に有効と認識したものの、福祉専門職の理解が得られにくいことや、市町村のマンパワー不足等により取組の優先度が高くならず、参画が進まなかった。

取組の方針や内容

取組方針

関係者の過度な負担とならないよう留意しながら、福祉専門職の参画を県が積極的に働きかけ

取組内容

- 円滑な参画促進のため、福祉専門職や県域関係団体へ取組説明し、参画の下地づくりを推進
  - <福祉専門職の定例会等での説明のポイント>
    - ①命を守るためには個別避難計画の作成が有効
    - ②ご本人の心身の状況をよく把握し、信頼関係が構築できている福祉専門職の参画が効果的
    - ③ケアプランと個別避難計画は重複部分も多い
    - ④計画作成は早期のサービス再開にも有効であるため、福祉専門職側のメリットも大きい
- 市町村に対し、福祉専門職参画の有効性を啓発しつつ、具体的な手法や資料を提示
- 県補助金により福祉専門職への委託料など個別避難計画作成に要する費用を支援(平成27年度～)

取組経過 (福福祉専門職向け 行市町村向け)

- ◆令和元年度 (主に同意取得への参画を促進)
  - 福介護支援専門員連絡協議会理事会及び総会、相談支援専門員協会役員会で取組説明
  - 福ケアマネジャー定例会等で取組説明
  - 行福祉専門職が要支援者に配布することを想定した取組のチラシ案を作成
  - 行福祉専門職との連携を促進する通知を发出
- ◆令和2年度 (主に計画作成への参画を促進)
  - 福ケアマネジャー定例会等で取組説明
  - 福 行個別避難計画作成に係る連携の必要性をテーマに講演会開催(同志社大学 立木教授)
  - 行福祉専門職参画の協定締結を支援
    - ⇒1市町村で協定締結
- ◆令和3年度 (主に計画作成への参画を促進)
  - 福ケアマネジャー定例会や介護支援専門員連絡協議会各地域ブロックで取組説明

- 福介護支援専門員連絡協議会及び相談支援専門員協会と、福祉専門職参画の対価として支払う金額の目安について協議
- 行福祉専門職参画意向調査を実施
- 行事業所説明資料や契約書、福祉専門職の使用を想定した作成マニュアルの案を作成
  - ⇒1市町村で資料を活用し、委託契約締結
- 行他県や県内市町村の取組事例報告によりノウハウを共有する研修会を開催(モデル事業)
- 行県ガイドラインを改定し、福祉専門職参画が効果的であり、県として促進することを明記

取組の成果・結果

- 福祉専門職の定例会等での取組説明は、概ね良好な反応が得られた。また福祉専門職自身も発災時の対応に不安を抱えていることが明らかになり、市町村に対する計画作成促進への後押しとなった。
- 令和3年度までに5市町村で福祉専門職が参画した計画作成に着手できた。
- 内閣府モデル事業を活用した研修会により県内市町村間でノウハウを共有できた。

成果が得られた理由

- 福祉専門職への取組説明では、個別避難計画作成による福祉専門職側のメリットや過度な負担にならない取組方法をお伝えすることで、福祉専門職参画の有効性の理解につながった。
- 市町村に具体的な資料案の提示や他市町村の取組事例を共有することで、作業イメージをつかんでいただけ、福祉専門職参画の取組につながった。

実際に取り組んで分かった

課題と対応策

(課題)

- 協力を得るためには、経費に対する財政支援や福祉専門職が属する事業所への働きかけが必要
- 市町村が円滑に参画を依頼するためには、職能団体から協力する意向を提示いただくことが必要

(対応策)

- 県補助金により引き続き、経費を支援(予定)
- 市町村の意向を踏まえつつ、県が事業所へ福祉専門職参画の必要性を説明(予定)
- 県域の職能団体と覚書等を締結(予定)



## (ア) 福祉専門職の参画に関するもの

### 留意点

- 福祉専門職は避難行動要支援者の心身の状況や社会的孤立の状況をリアルに把握している
- 県・市町村レベルから県・市町村単位で設置されている福祉専門職の団体に働きかける
- 福祉事業所の所属長、管理者、施設長などのマネジメント層に働きかける
- 市町村から福祉専門職へ具体的に協力の内容を説明する
- 災害の切迫性の理解、個別避難計画の必要性に関して福祉専門職との間で共通認識を形成
- 個別避難計画づくりを経験した福祉専門職の経験を他の福祉専門職と共有する
- 研修への参加の促進(主任介護支援専門員法定外研修への位置づけなど)



# (ア) 福祉専門職の参画に関するもの

## ① 滋賀県高島市

### Point

- 市内の福祉専門職団体等から構成する推進協議会・WG の設置
- 各会議等への福祉専門職の参加による円滑な計画作成

## 課題

当市においては、先行して障がい分野において相談支援専門員等が参画する個別避難計画の作成が進んでいたものの、高齢・介護分野については、具体的な取組内容の検討ができていなかった。

## 取組のポイント

### 庁内外の関係者との連結・連携

- 個別避難計画の作成を推進するため、庁内外の関係者から構成する協議会・ワーキンググループ（WG）を設置し、取組内容の検討・検証を行った。関係者を連結・連携することで、取組の共通理解を図ることができた。

#### 第1回協議会 令和3年5月24日

（内容）国による要支援者対策の動向について  
今後の取組概要・スケジュールについて  
障がい分野における取組事例紹介

#### 第1回WG 令和3年5月24日

（内容）障がい分野の具体的な取組方法の紹介  
優先順位チェックシートについて  
個別避難計画の様式について

#### 第2回WG

高齢分野 令和3年6月18日

障がい・医ケア児者分野 令和3年6月28日

（内容）優先順位チェックシートについて（継続）  
個別避難計画の様式について（継続）  
市内の災害リスクの確認

※2回のWG後、両WGリーダーと打ち合わせを実施し、両分野の意見等のとりまとめと今後の方向性を協議

#### 第2回協議会 令和3年7月28日

（内容）経過報告及び両WGの検討結果報告  
今後のスケジュール・取組体制について

### 福祉専門職対象の研修会や説明会の実施

- 計画作成における福祉専門職の重要性をお伝えし、具体的な作成方法等について理解を深めていただくために、研修会や説明会を実施した。

#### 研修会の開催 令和3年6月9日

（内容）誰ひとり取り残さない防災に向けて福祉関係者が身に付けるべきこと【eラーニングの受講及び参考図書の閲読】  
当事者アセスメント等の実践演習  
地域調整会議の模擬体験 等



#### 説明会の開催 令和3年8月11日

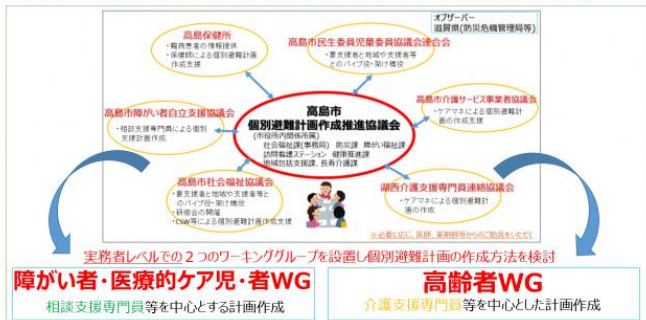
（内容）協議会の取組報告  
優先順位チェックシートの活用依頼  
市防災マップの活用方法について

### 各種会議等への福祉専門職の参加による効果

- 計画作成のための各種会議に当事者の心身の状況をよく把握され、信頼関係も築いておられる福祉専門職が参加したことで、当事者（その家族）が話しやすい環境が整ったとともに、地域の支援者との活発な意見交換につながった。



### 防災と保健・福祉の連携による高島市個別避難計画作成推進協議会



# (ア) 福祉専門職の参画に関するもの

## ②愛媛県四国中央市

### Point

- 介護支援専門員地域リーダーが考案した災害時リスク・アセスメントシートの活用

## 課題

避難行動要支援者との日常の関係がある職員が防災まちづくり推進課にはおらず、協力依頼等をしづらい状況にあった。

## 取組のポイント

### 庁内での連携

- 高齢介護課と連携したことにより、介護支援専門員地域リーダーとの信頼関係を築くことができた。
- 避難行動要支援者への協力依頼等は、担当の介護支援専門員へ高齢介護課から依頼してもらい、防災まちづくり推進課と担当介護支援専門員とが協力関係を築けた。

### 事業所への働き掛け

- 介護支援専門員地域リーダーとの協力体制も出来上がり、地域リーダーから市内各事業所へ災害時リスク・アセスメントシートの作成及び提出の依頼を行ったため、77%の事業所から協力が得られた。
- 事業所内で活用するため前年度より介護支援専門員地域リーダーが考案した災害時リスク・アセスメントシートの提出を依頼したため事業所からの提出もスムーズに行えた。

### 負担軽減への配慮

- 地域の指定をせず、市内全域での作成を可能とした。
- まずは、介護支援専門員ひとり1シートの提出とし、作成の優先度の検討は今後防災まちづくり推進課、高齢介護課において協議していくこととした。

The image shows two documents. On the left is a 'Disaster Risk Assessment Sheet' (災害時リスク・アセスメントシート) with various sections for identifying risks and assessing them. On the right is a table titled 'Business Establishment Information' (事業所基本情報) with columns for business name, address, phone number, and other details. Below the table is a section for 'Disaster Preparedness Measures' (災害時の対応) with checkboxes for various preparedness actions.



# (ア) 福祉専門職の参画に関するもの

## ③長崎県長崎市

### Point

- ケアマネ協議会の参画と地域包括ケアシステムの推進

## 課題

避難支援等実施者がいない者のうち、避難支援等関係者への情報提供に同意が得られない者が8割を超えている。

また、マイ避難所を決めておらず、適切な避難場所の選択を含め事前準備ができていない状況がある。

## 取組のポイント

### 庁内での連携

- 避難行動要支援者（以下「要支援者」という。）の主たる登録を担う高齢者すこやか支援課が事務局となり、地域の防災力向上等を担う防災危機管理室、地域のささえあい体制づくりの支援を担う関係所管課と、個別や集合・Web 会議により、お互いの役割と実績・課題について、今までにないほど協議する機会を持った。
- 庁内関係課が揃って研修に参加し、アドバイザーボード委員やモデル自治体の話を直に聞くことで、災害時における命を守る避難の確保に向けた意識の向上と連携強化につながった。

### ケアマネ協議会の参画

- 『災害時における命を守る避難の確保』を実現するためには、まず、避難支援等関係者への情報提供への同意を増やすこと・自助力の向上が重要であり、本事業の応募当初から、ケアマネジャーの参画ありきで事業展開を考えていた。
- 長崎市介護支援専門員連絡協議会とは日頃から地域包括ケアシステム推進に向けた様々な協働の実績がある。「利用者の安全安心の確保はケアマネジャーにとっても重要。BCP の策定も必要となっている。是非参画したい。」との賛同を得た。
- 同会との協議では、要支援者及び家族の立場での有意義な意見が出され、個別避難計画を市民に馴染みの安心カード版で作成することになった。同会員を対象に協働で研修を開催した。

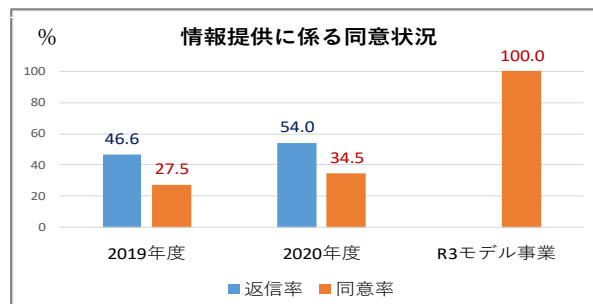
### 【研修時の様子】



### 地域包括ケアシステムに向けた取組

- 同会は、約3か月間で要支援者及び家族を支援しながら、安心カード版の個別避難計画104件を作成、災害時に備え自宅の冷蔵庫に計画を設置、加えて全件が情報提供に同意するという参画の大きな成果を示した。

### 【通知文書及び電話勧奨とモデル事業との比較】



(過去2年間の同意率は各発送数を分母として算出)

- 次に必要な取組は、作成された個別避難計画を避難支援等関係者と共有し、実効性のある避難支援につなげることであった。そのために、本市の現情報システムを改修し、これまでの避難行動要支援者名簿の情報では提供できなかった具体的な避難支援情報をリスト化できるよう整備した。
- 令和4年度以降は、要介護2以上で支援者がいない方の個別避難計画を4か年で作成していく予定である。また、作成した個別避難計画の情報を避難支援等関係者に提供し、平時からの見守りと災害時における早い段階での声かけや避難支援により、命を守ることができる地域包括ケアシステムに向け、ささえあい体制づくりに活かしていく。